

2009年度

科目名	生理解剖学A		
担当教員	片山 洋子		
配当	人社1	コード	11350
開期	前期	講時	月曜日1限
		単位数	2
授業テーマ	骨と筋の機能解剖学について学修する。		
目的と概要	<p>身体の機能を知るためには、構造の理解が必要であり、その相互の関係について講義する。身体の構造と機能はスポーツ指導者や保健体育教員に必須の基礎知識である。スポーツ生理学やスポーツバイオメカニクス、スポーツ生化学などに発展する。</p> <p>前期のみの履修ではなく、A・B両方を学ぶことを勧めたい。前期は主に骨格の機能解剖と筋の生理学および神経系について講義する。後期は呼吸器、循環器、消化器系などについて講義する。</p>		
成績評価法	平常点ならびに試験との総合評価を行う。		
テキスト	新訂 目でみるからだのメカニズム / 堺 章 / 医学書院		
参考書	図解 栄養生理学・生化学 / 片山眞之・片山洋子 / 産業図書		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<p>前期</p> <p>1: 骨と筋肉の働き</p> <p>2: 全身を形作る骨格</p> <p>3: 骨の構造と働き</p> <p>4: 骨の成長と老化</p> <p>5: 関節のしくみと働き</p> <p>6: 中間試験 骨格を対象とした範囲で</p> <p>7: 筋肉の構造と働き</p> <p>8: 筋収縮のしくみ</p> <p>9: 筋肉とエネルギー代謝</p> <p>10: 運動と筋肉</p> <p>11: 中間試験 骨格筋を対象とした範囲で</p> <p>12: 神経のしくみと働き</p> <p>13: 中枢神経 (1) 脳と脊髄の構造</p> <p>14: 中枢神経 (2) 脳の役割分担</p> <p>15: 総括</p>			